

山陽路・港紀行

2020.7.20 池田良穂

7月17日に、広島で開催される日本船舶設計協議会の総会・講演会に招かれて講演をさせていただくことになりました。同協議会は、中国地方の船舶設計会社で構成される団体で、現会長は、本会団体会員の大鏡設計事務所の白石氏です。講演用のパワーポイントも出来上がり、白石氏にお送りしてほっとした瞬間に、どう広島まで行くかに頭の中はフル回転。まだ梅雨真ただ中ですが、天気予報によると16~17日の山陽路は天気がよさそう。AIS情報では、瀬戸内海汽船の新船「シーパセオ2」も広島港に入っているようでしたし、広島と呉の間の海域にはピースボートのチャーター船「オーシャン・ドリーム」も停泊しています。

さらに岡山、広島で、まだ見ぬ船が何隻か待っています。そこで、16日の早朝に堺を出発して、岡山県の牛窓(前島航路)と宝伝(犬島航路)、広島の尾道(水道の渡船)に寄りながら広島に入ることにしました。

翌朝は、広島港で「シーパセオ2」と会ってから、呉方向に移動して「オーシャン・ドリーム」とさくら海運のフェリーバースに行き、広島に戻って午後からの講演に臨みました。

一泊して18日も青空が見える天気だったので、早朝から広島からさらに西に移動して、大竹港で阿多田島航路船を撮影して、帰りに宮島航路も見てから大阪に戻りました。

牛窓



牛窓～前島を結ぶ「まえじま丸」。138総トンのフェリーで神原造船の建造です。



宝伝と犬島を結ぶ航路には「第7あけぼの丸」と「第5あけぼの丸」の2隻が就航しており、運航するのは豊田氏個人です。航海時間はわずか10分。



「第5あけぼの丸」です。



宝伝の港に並ぶ「第7あけぼの丸」(右)と「第5あけぼの丸」です。

尾道水道の渡し船

尾道水道には何度も足を運んでいますが、「日本の旅客船Ⅲ」の編集作業をしてみると、やはり、写真が漏れている船がありました。それを埋めるためもあって、尾道にも寄りました。

尾道渡船

水道の一番東側の渡しが尾道渡船で「にゅうしまなみ」と「第1しまなみ」があります。



「にゅうしまなみ」に乗船してみると、「石田造船建設」の銘板がありました。



「第1しまなみ」は、向島側に係船されていました。

福本フェリーと向島運航

尾道駅の近くの2つの桟橋からは、福本フェリーの「小浦丸」と、向島運航の「むかいしま」が就航しています。



「第12小浦丸」



「むかいしま-1」

広島・宇品港



18日の朝、宇品の岸壁に停泊する新鋭船「シーパセオ2」です。上の写真は、前日17日朝に習熟訓練に出航する姿です。8月1日から営業航海とのこと。

広島～呉



ピースボートのチャーターする「オーシャン・ドリーム」は、広島と呉の間にあるJR水尻駅の沖合に停泊していました。世界中で新型コロナウイルス感染が広がる中、世界一周クルーズの再開はまだ先になりそうです。



呉ポートピアパーク横の栈橋と江田島の切串を結ぶさくら海運のフェリーも、これまでは船上からしか見たことがありませんでしたが、はじめて港で着岸する姿を見ることができました。「さくら 2」は 268 トンで、250 人の旅客と、乗用車換算で 34 台の車を積載できます。

大竹港

広島と岩国の間にある大竹市の小方港から、沖合の阿多田島には阿多田汽船の「涼風」(すずなぎ)が就航しています。航海時間は 35 分。



港に着くと、ちょうど「涼風」が入港するところでした。背景は化学コンビナートです。

宮島航路

宮島口と宮島をぶ航路には、JR 西日本と宮島松大汽船が、それぞれ 3 隻ずつのフェリーを運航しています。航海時間はわずか 10 分です。

JR 西日本



「みやじま丸」



「みせん丸」



「ななうら丸」

宮島松大汽船



「宮島」



「厳島」



「安芸」